

9月12日「課題研究中間発表会」開催 ～研究成果の中間報告と今後について～

9月12日の6・7校時、博士号教員の大沼克彦先生（生物）、瀬々将吏先生（物理）をお招きし、本校理数科2年生の課題研究中間発表会を開催しました。各班、発表は6分、質疑応答を4分をとし、5ヶ月間の研究の成果および今後の実験の方向性について、写真やグラフ、図などをスクリーンに投影して行われました。博士号教員の先生方からは、実験や検証方法の改善、今後の取り組みの方向性、適切な発表のしかたなど具体的な指導助言をいただきました。また、課題研究の先輩である本校理数科3年生も参加し、昨年度の課題研究の経験を踏まえての鋭い質問やアドバイスをしてくれたことで、活発な質疑応答が行われました。



上左・上右：発表の様子
やや緊張しています。

左：質問する3年生
たくさんの質問が出ました。

下左・下右：博士号教員の先生からの
指導助言



=各班の研究テーマ（発表順）=

- 1 化学班 「果物電池 ～アップルで Apple 製品を充電する～」
- 2 数学2班 「Collatz 予想と数学的考察」
- 3 生物2班 「きのこいじめてみた ～ストレスが生み出すきのこの命～」
- 4 数学1班 「～横手高校前の渋滞をなくすには～」
- 5 物理2班 「MRL 計画（Miirino Rockets Launch Project）
～100mの壁を越える～」
- 6 化学地学班 「変化する湧水 -地質と天候からの考察-」
- 7 生物1班 「パン vs ○○」
- 8 物理1班 「声真似は本当に似ているのか
～IMAIroido を生み出すために～」

発表会終了後は、博士号教員の先生方や理数科3年生から、直接、具体的なアドバイスをいただくことができました。これからの研究に役立てられるように頑張っていきたいと思います。

また、実験を進めていく中で、テーマ発表会のときとはやや異なった研究内容に方向を変えた班もありますが、新しい発見や興味関心から発したことだと思えます。実験結果を精査して、新たな仮説や実験計画を立てて、このあとじっくりと研究に励んでいきましょう。



校内での最終的な課題研究の発表会は、11月20日です。本校体育館で行います。是非、参観にいらしてください。また、秋田県内の理数科理数科合同発表会は、12月16・17日（1泊 秋田県総合教育センター）です。